

# 災害時に避難所へ“豊”を無償提供

## 豊店有志と市が災害時応援協定結ぶ

二十九日、全国の豊店有志で組織する「五日で五千枚の約束。プロジェクト」(本実行委)と、災害時に避難所へ新品の豊を無償で提供してもらおう「災害時応援協定」を締

結した。同プロジェクトは、神戸市の豊店らが発起人となり平成二十五年に発足。これまでに全国の四百七十店が加盟し、熊

本地震や関東・東北豪雨などの被災地へ豊を届けてきた。

今回の協定は、高山市内で加盟している松葉製豊(松葉清幸さん・森下町一)と松井豊店(松井幸生さん・八軒町二)を通じて市に締結の申し出があったとい

【下写真】左から松葉さん、國島市長、國枝さん、松井さん。

自転車登山者



同プロジェクト東海支部委員長・國枝幹生さんが協定書に署名。國島市長は「高山でもいつ直下型地震や噴火などの災害が起こるか分かりません。豊の提供は大変ありがたいです」と、國枝さんは「豊にはイグサの香りでありラックスしたり、湿度調整や防音などの効果があります。少しでも快適に過ごせるよう、災害時には全国の有志がお届けします」と話していた。

市が「災害時応援協定」を結んだのは今回で七十四団体目。

カーテンを寄せて花少  
護師の声  
ゴムボートに波乗りせむと  
に身体を包み  
天皇の「お気持ち」聞きて  
き世代が  
蔓だけがぐんぐん伸びて花  
水断ちの刑

みやがわ短歌会  
もつれ合い夏空高く飛びゆ  
お)にまぎるる  
ひぐらしが一斉に啼き始め  
て  
蜩の声を聞きつつ夕焼けの

単身の多忙な息子案じつ  
日々  
愛犬に「行ってくるよ」と  
わ)しい朝のはじまり  
長年の夢の叶ひし飛行士は  
大空を自由自在に走れたら

大自然の中に今日迄生き来  
る  
朝刊にカラー写真の記事あ  
ず  
「上等兵某」の墓は苔むし

写真)。一箇